







クの手法を用いて定式化したカンターマップを図 4 に示す。

引張強さは、高 Cr、高 Mo 側で高くなる傾向が見られた。- 196 における吸収エネルギーは低 Cr、高 Mo 側、耐凝固割れ性は低 Cr、低 Mo 側でそれぞれ向上する傾向が見られた。これらの結果から、低 Cr、高 Mo (Ni-2%

流，高速の条件で割れが発生することが確認された  
が，250A 以下の電流であれば 50cm/min の速度でも割